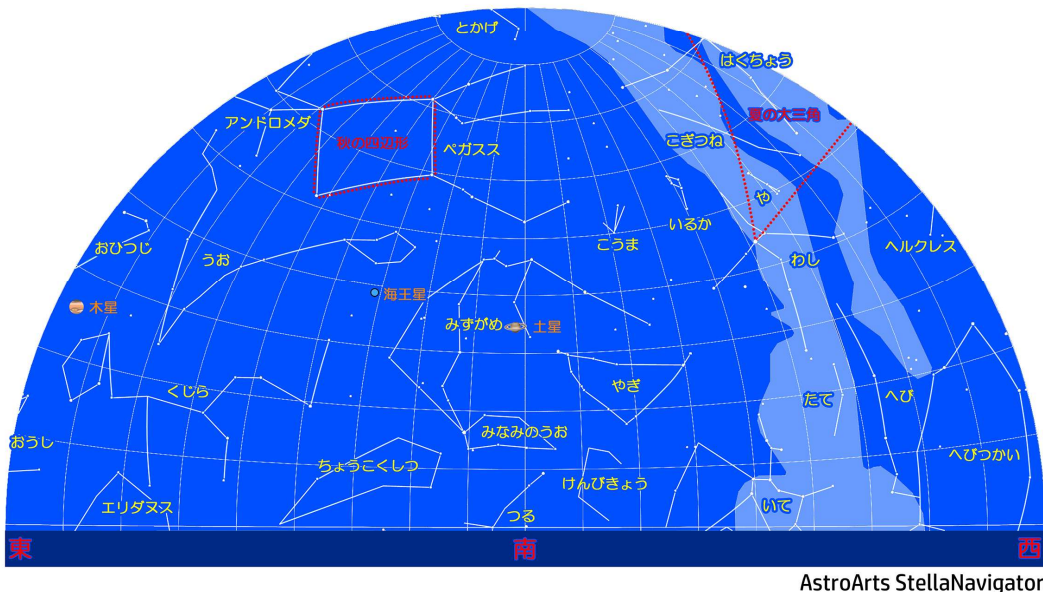




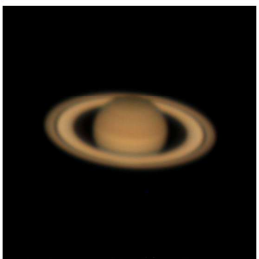
銀河の森天文台

2023年10月みどころ天体情報

10月の星空(15日 20:00頃)



土星



土星が見ごろの季節がやってきました。土星の最大の特徴であるこの見事な環は、99.9%が水の氷で出来ています。環の明るくはっきりと見える部分(メインリング)は、直径が約27万3500kmもあるのに対し、厚さは10m~1kmしかありません。また、土星には80個以上の衛星があり、その中でもエンケラドスは生命が存在する可能性がある事で注目されています。

太陽からの距離：約14億3000万km

イベント・天文現象

10月

4(水)~15(日) 木星・土星と秋の天体観望会
20(金) 水星が外合
24(火) 金星が西方最大離角
25(水)~29(日) ハロウィーンナイト観望会
27(金) 後の月(十三夜)
29(日) 部分月食

11月

1(水)~12(日) 外惑星と秋の天体観望会
3(金) 木星が衝
8(水) 立冬
14(火) 天王星が衝
18(土) 火星が合
20(月) 月面X
25(土) おもしろ科学実験

月

	出	没
6日	下弦 21:18	13:08
15日	新月 05:48	16:54
22日	上弦 13:19	22:14
29日	満月 16:23	06:06

天文台から月を見ることができるのは1~4日頃と18~29日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

M15(球状星団)

秋を代表する球状星団でちょうどペガサス座の鼻先に位置しています。明るく非常に密集した球状星団で、望遠鏡では星が密集した様子を観察することができます。

距離：約3万3600光年

アルマク(重星)

アンドロメダ座に位置する重星です。色違いの重星では、はくちょう座のアルビレオが有名ですが、このアルマクも負けてはいません。オレンジ色と青色の星が寄り添う姿がとても綺麗です。

距離：約394光年

木星

太陽系で一番大きな惑星で、その直径は地球の約11倍にもなります。大赤斑と呼ばれる巨大な渦と、縞模様が特徴的です。ガリレオ衛星と呼ばれる、特に明るい衛星が4個あるので探してみましょう。

太陽からの距離：約7億8000万km

NGC7662(惑星状星雲)

アンドロメダ座に位置する惑星状星雲で青い雪玉(Blue Snowball Nebula)という愛称がついています。名前のとおり、きれいな青色が印象的です。

距離：約2000~6000光年

その他おすすめ

M2(球状星団)
M27(惑星状星雲)
M31(銀河)
M57(惑星状星雲)
NGC7331(銀河)
h-χ(散開星団)
ガーネットスター(恒星)
アキルド(重星)

開館情報

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

開館時間

14:00~22:30
(4月~9月)
13:00~21:30
(10月~3月)

休館日